

## 平成 28 年度 指定管理者評価シート

施設 の 名 称	千葉ニュータウン中央駅南口自転車駐車場
施設 所 管 課	市民部 市民安全課
指定管理者の名称	(一社) 日本駐車場工学研究会
指 定 期 間	平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 32 年 3 月 31 日 (2 年目)

## 1. 施設の設置目的と概要

設置目的	自転車の交通に係る事故の防止と交通の円滑化並びに駅前広場等の良好な環境の確保及びその機能の低下の防止を図り、併せて自転車の利用者の利便の増進に資するため。
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場施設及び設備に維持管理、使用の承認に関すること</li> <li>・ 駐車場利用料金の徴収 等</li> </ul>

## 2. 施設の計画値と実績値等

年度	利用 方法	計画① (使用料)		計画② (利用台数)		指定 管理料	利用者アンケー トによる満足率	備考
		計画値	実績値	計画値	実績値			
27	定期	7,714,000 円	7,592,100 円	1,600 台	1,534 台	0 円	96.0%	
	一時	2,260,000 円	2,309,300 円	21,353 台	21,915 台			
28	定期	7,590,000 円	7,393,100 円	1,534 台	1,490 台	0 円	94.0%	
	一時	2,300,000 円	2,094,600 円	21,915 台	20,051 台			

※計画値は協定書・仕様書・事業計画書等での数値。

※利用者アンケートによる満足率は、アンケート項目に「施設の総合的な満足度について」を設定し、その項目の結果において、普通以上の評価とした者の率。

## 3. 各項目の評価

※評価 (3 点…基準よりも高い水準 2 点…基準と同程度 1 点…基準よりも劣る。)

評価項目	評価基準	評価
1 業務履行状況の確認		
① 業、業務の履 行状況	協定等で定める開館日が遵守されているか	2
	施設の利用状況 (利用者、稼働率) は適切な水準か	2
	事業計画で定められた事業が実施されているか	2
	利用者拡大のための施策等が行われているか	2
	利用料金等の徴収等の手続きは適切に行われているか	2
	協定等で定める職員配置となっているか	2
	緊急時の体制は整備されているか	2
	協定等で定めた保険に加入しているか	2
	苦情等への対応は適切に行われているか	3
	個人情報適切に管理されているか	2
②施設の維持管理 状況	協定等で定める保守管理業務が適切に行われているか	2
	協定等で定める清掃業務が適切に行われているか	2
	協定等で定める保安警備業務が適切に行われているか	2
	協定等で定める修繕業務が適切に行われているか	2
③労務管理状況	労働環境チェックシートの各項目は遵守されているか	2

2 サービスの質に関する評価		
① 実地調査に基づく評価	職員の接客態度について	3
	施設案内やホームページの見やすさについて	2
	設備、備品等が適切に管理されているか	2
	施設は清潔に保たれているか	2
	協定等で定めるアンケート調査等が行われているか	2
②アンケート等に基づく評価	職員の接客態度について	3
	施設案内やホームページの見やすさについて	
	予約のしやすさについて	
	実施事業の満足度について	
	施設は清潔に保たれているか	3
	アンケート結果を踏まえ、改善が図られているか	2
3 サービス提供の継続性、安定性に関する評価		
①施設運営、事業収支の状況の確認	事業収支について応募段階の収支計画との乖離がないか	2
	事業に係る経営分析指標は適切な水準となっているか	2
②指定管理者の経営状況	監査報告書に異常な指摘事項はないか	2
	財務に係る経営分析指標は適切な水準となっているか	2
	適正な利益率を確保できているか	2
評価値		2.14

※評価値については、各項目の平均値。(最大31項目)

#### 4. 所管課による総合評価

※総合評価 (A:極めて優秀、B:優秀、C:可、D:不可)

総合評価	総合評価理由等	
B	評価値	2.14
	総括	事業の運営及び施設・設備管理が適切に行われており、利用者アンケートの施設利用における満足度の高さからも、良好なサービスを提供していると言える。
	優れている点	指定管理者による自主事業として施設照明のLED化により電気代の削減を行っている。 職員の接客態度等については、年2回の接遇研修を行い、職員の接客技術の向上を図っており、自転車駐車場の整理整頓、清掃、美化状況についても利用者アンケートでは良い評価を受けている。
	課題と改善案	施設・設備の経年劣化や、自転車等の形状の変化に対応するため、修繕計画及び改修計画が必要となってくる。 また、利用者数において、一時利用者の数は前年比97.1%、定期利用者は前年比91.5%となっており減少傾向にある。 また、利用料金収入についても前年比の95.8%と減少しているが引き続き、施設の利便性の向上に努め、利用者の増加を図っていく必要がある。

※「3. 各項目の評価」で「1点」があった項目は、その理由等を必ず記載すること。